

令和5年度11月補正予算の主な事業

参 考 資 料

徳 島 県

目 次

	頁
1 県立学校「1人1台端末」故障への対応	
(1) ⑧ 1人1台端末緊急整備事業	【教育委員会】 1
2 「こどもまんなか社会」実現への取組	
(2) ⑧ こども未来基金積立金	【未来創生文化部】 2
(3) ⑧ 脊柱側弯症機器検診導入体制整備事業	【保健福祉部】 3
(4) 目指せ！オリンピック・夢はぐくみ事業	【未来創生文化部】 4
3 国際線誘致の加速	
(5) ⑧ 国際線就航促進事業	【県土整備部】 5
(6) ⑧ 国際線就航に向けたインバウンド対応事業	【商工労働観光部】 6
4 大阪・関西万博に向けた取組	
(7) 大阪・関西万博に向けた取組	【政策創造部】 7
⑧ 「徳島パビリオン」実施設計・運営推進事業	
⑧ 「徳島パビリオン」映像コンテンツ制作事業	

① 1人1台端末緊急整備事業

【令和5年度11月補正予算額 72,000千円】

県立学校の1人1台端末について、バッテリーの膨張を主たる要因とした故障が増大していることから、早期に1人1台端末の学習環境へ復元するため、不足する台数を調達する。

【1】1人1台端末の確保：72,000千円

不足する台数をリース方式により調達する。

・賃借料：72,000千円

【2】学校現場での緊急対応：（既決予算）

学校現場では、使用可能な端末を最大限活用する方法のほか、既決予算を活用した不足台数の整備により、必修科目「情報Ⅰ」の実習環境を確保する。

⑨ 新 こども未来基金積立金

【令和5年度11月補正予算額 1,000,000千円】

本県の未来を担うこどもたちが、等しくその権利が擁護され、自立した個人として健やかに成長することができる社会の実現を図るとともに、人口減少を克服するため、新たに「こども未来基金」を創設し、安定的な財源を確保する。

【1】こども未来基金への積立：1,000,000千円

こども未来基金へ10億円を積み立てる。

【2】事業費の内訳

・積立金：1,000,000千円

お問い合わせ先：こどもまんなか政策課（088-621-2551）

⑨ 脊柱側弯症機器検診導入体制整備事業

【令和5年度11月補正予算額 6,100千円】

思春期に発症することが多い脊柱側弯症の検査機器を用いた検診体制の構築に向け、各種検診の実績があり、かつ、機動的な検診実施が可能な団体に対し、必要となる機材等の整備費用について補助を行い、子どもたちの脊柱側弯症の早期発見と適切な治療を確保を目指す。

【事業費の内訳】

- ・補助金：6,100千円

【補助対象】

- ・各種検診の実績があり、かつ、巡回等、機動的な検診実施が可能な団体
- ・また、県や関係機関等との緊密な連携を確保できる団体

【対象経費】

- ・検査機器等、検診の実施に必要な機材等の購入経費

【補助内容】

- ・補助額（上限額）：6,100千円
- ・補助率：10/10

※ 脊柱側弯症：脊柱が横に曲がる病気で、進行すると、腰痛や背部痛、呼吸機能障害等をもたらし、手術による治療が必要となる場合がある。

対象機器：背中の撮影画像から、背部の対称性や背骨のゆがみの有無を測定する。

目指せ！オリンピック・夢はぐくみ事業

【令和5年度11月補正予算額 2,500千円】

昨今、野球・バスケットボールをはじめ、様々なスポーツの世界大会において、日本人選手・チームの目覚ましい活躍が見られる中、ジュニア選手がトップアスリートになる夢を育み、更なるモチベーションアップと競技力向上につなげるため、オリンピックメダリストをはじめとする日本トップレベルの選手によるスポーツ教室等を開催し、こどもたちが憧れの選手と直に触れ合い、プレーを間近に体感できる機会を創出する。

【1】 トップアスリートによるスポーツ教室等の開催：2,500千円

日本トップレベルの選手によるスポーツ教室等を開催する。

- ・ 日程：令和6年2月頃
- ・ 会場：県内スポーツ施設
- ・ 対象：県内小中高生ほか
- ・ 内容：スポーツ教室等（スポーツ教室、トークショー・交流会）

【2】 事業費の内訳

- ・ 委託料：2,500千円

お問い合わせ先：スポーツ振興課（088-621-2984）

⑨ 国際線就航促進事業

【令和5年度11月補正予算額 70,000千円】

早期の国際線就航を目指し、航空会社への運航支援や利用促進策を準備するとともに、必要となる空港環境整備や、空港業務（飛行機の誘導や搭乗手続き等）を担う人材確保・育成に係る支援を実施する。

【1】国際線運航支援及び利用促進：45,000千円

- ・ 着陸料や旅客ビル施設使用料の一部補助等航空会社への運航支援
- ・ 旅行商品造成支援やパスポート取得支援、送迎バス利用支援等による利用促進
- ・ 徳島阿波おどり空港における通訳配置やおもてなしの実施

【2】徳島阿波おどり空港国際線受入環境整備：5,000千円

- ・ 国際線利用者の利便性向上に資する案内表示整備等を実施

【3】空港業務人材の確保・育成支援：20,000千円

- ・ 受入体制強化に係る他空港等からの派遣に要する経費を支援
- ・ 人材確保に係る情報発信等に要する経費を支援
- ・ 新規雇用後の研修に要する経費を支援

【4】事業費の内訳

- ・ 補助金：58,840千円
- ・ 委託料：11,160千円

お問い合わせ先：次世代交通課（088-621-2290）

⑨ 新 国際線就航に向けたインバウンド対応事業

【令和5年度11月補正予算額 30,000千円】

早期の国際線就航を目指し、航空会社等と連携した誘客に必要なプロモーションにより、認知度向上を図るとともに、県内宿泊の促進や関西圏からの誘客等を実施し、訪日外国人宿泊者数の増加に取り組む。

【1】航空会社や旅行代理店によるプロモーション：10,000千円

国際線就航に向けて、航空会社等と連携し、本県への誘客を効果的にアプローチするため、メディアやSNS等を通じたプロモーションを実施。

【2】県内宿泊促進及び関西圏からの誘客等：20,000千円

- ・ 県内での宿泊を促進するため、国際線利用者に対して、ナイトコンテンツを活用した施策の実施。
- ・ 多くの訪日外国人旅行者が関西圏に滞在していることから、交通機関と連携した関西圏からの誘客と国際線の相互利用を促進する施策の実施。
- ・ 本県の認知度向上を図り、国際線利用の潜在的な需要を喚起するため、現地メディア等と連携したプロモーションを実施。

【3】事業費の内訳

- ・ 委託料：30,000千円

お問い合わせ先：観光政策課（088-621-2337）

大阪・関西万博に向けた取組

【令和5年度11月補正予算額 30,000千円】

(1) ① 「徳島パビリオン」実施設計・運営推進事業 15,000千円

大阪・関西万博における「関西パビリオン」内の本県展示スペース「徳島パビリオン」についての基本設計に続く、展示物、映像コンテンツ等の詳細決定及び展示製作図面作成のための実施設計を行う。
また、2025年の本番期間における人員配置はじめ運営体制の基礎的情報を整理する。

【事業費の内訳】

- ・委託料：14,000千円
- ・事務費：1,000千円

(2) ① 「徳島パビリオン」映像コンテンツ制作事業 15,000千円

万博本番に「徳島パビリオン」で放映する映像コンテンツの制作に向け、「冬」及び「春」の映像素材を撮影するとともに、本県の魅力発信に活用する。

【事業費の内訳】

- ・委託料：15,000千円

お問い合わせ先：万博推進課（088-621-2130）